

平成28年度「朝日の教育」実践発表会

1 日時 平成28年11月 4日(金) 8時45分～12時20分

2 場所 旭川市立朝日小学校

3 参加者 助言者 北海道教育委員会上川教育局 指導主事 石山 輝
助言者 旭川市教育委員会教育指導課 主 査 常盤 慎一
参加者 全道各地からの教育関係者 161名
(上川管内, 網走, 羅臼, 帯広, 苫小牧, 羽幌, 恵庭など)

4 公開授業の様子とアンケートから

(1) 1年1組 算数「たしざん」

ブロックや図などを用いて表現する算数的活動を通して、既習の計算をもとに、より簡単に計算する方法を考える学習。



- 子どもたちの発言を繋げる(対話を重視する)、できるだけ考えを出させたいという姿が伝わってきました。
- 学校のルール、生活のけじめがきちんとされていると思いました。
- ペアで自分の考えを伝え合う活動に目的意識をもって取り組んでいたのがよかったです。

(2) 1年2組 国語「くらべてよもう」

自動車クイズ大会でクイズを出したり答えたりしたいという意欲をもち、そのために自分の「自動車図鑑」を作ることが分かり、「自動車図鑑」に書く内容の見通しをもつ学習。



- 子どもたちが日頃からしっかりと発言したり、お友達の意見をしっかりと聞いたりということが訓練されていると感じました。担任の先生の温かい言葉掛けや雰囲気づくりが素晴らしいと感じました。
- 1年生でこれだけペアや全体で活発な意見が出し合えるのはすごいと思いました。
- クイズにつなげるための図鑑ということで、どの車にも当てはまる特徴ではだめだという意識が子どもたちの中で生まれたと思います。

(3) 2年1組 国語「まとまりに分けて、お話を書こう」

友達のメモの内容を見たり、聞いたりして、よいところや読みやすい内容になっているかを伝え合い、メモを見直すことができる学習。



- 明るく温かい雰囲気の中で、子どもたち一人一人がのびのびと学習に取り組んでいました。
- 子どもたち一人一人が考え、考えたことを表現する場が工夫されており、大変勉強になりました。

(4) 2年2組 算数「かけ算九九づくり」

答えの求め方を多様に考え、乗法についての理解を深める学習。



○個人思考でなかなか自信をもてなかったHくんが、最後の定着問題で自信をもって解いている姿、感動しました。グループや全体から学ぶことができるというのが実証されたと思いました。

○子どもたちの学習に取り組む姿、大変立派でした。

(5) 3年1組 理科「じしゃく」

磁化させた縫い針がどのようなはたらきをもつのか、磁石の性質をもとに総合的に考え、交流して、自分の新たな考えを導こうとする学習。



○子どもたちがわくわくするようなしかけが随所に見られて、私も楽しませてもらいました。3年生には難しい内容かなと思いましたが、具体物を使って、まず予想し、実験して、現象として確かめる。この一つ一つの積み重ねがあるから、主体的に子どもたちも活動できていたのだと思いました。

○子どもが考えたくなる教材だなと思いました。

○子どもたちのノートを見て、本当に楽しい、わかったできたという思いを感じました。

(6) 4年1組 総合的な学習の時間「旭山動物園とわたしたち」

旭山動物園の動物と触れ合い、動物の体温や重さ、心拍数や触感などを実感し、動物への関心を高める学習。



- 旭山動物園の出張授業を活用した、体験と体験とを比較して課題意識を高める「課題設定」の工夫のためには、本時での子どもたちの言語化や交流が大切だと思いました。
- 学級経営が素晴らしいです。
- 学級の雰囲気もとてもよく、子どもがのびのびと勉強しているなど感じました。

(7) 5年1組 社会「情報化した社会とわたしたちの生活」

情報ネットワークを活用していても、特別警報が出るまでに時間が掛かることの意味を考え、気象台の役割と関連付けて表現できるようにする学習。



- 予想させることから始め、学ばせたい内容を子どもの口から出させていく取組も徹底されていました。
- 課題にもっていくまでの導入が大変参考になった。「そんなにかかるんだ。」驚きから課題に繋げていく。「えー」と思わせて解決したくなる仕組みがよかった。
- 教師の介入がほどよく入り、まとめにつなげていた。

(8) くりの木・さくら学級 生活単元学習「買い物名人になろう」

買い物の学習の中で自分で気付き、やりとりしながら、教師や友達とつながることができる学習。

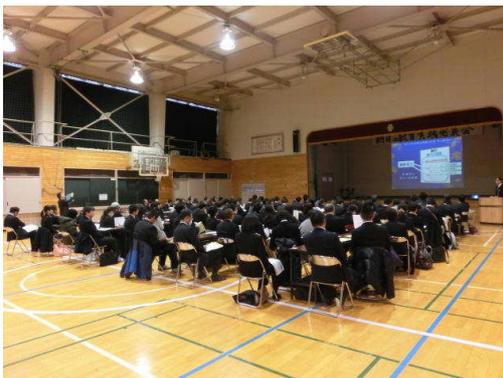


- みんなが意欲的に参加していてすごいと感じました。また、助け合う姿勢やアドバイスする姿が大変立派で、児童の頑張り先生方の日頃のご指導が素晴らしいのだと感じました。
- 特に女の子で、店員の方に声を掛けられ、間をおいて「お勧めを探しています。」とこたえられた能力に感心しました。
- 次時への興味関心を持たせる「(意欲が) 伸びる意識付け」はうまいなと思います。

5 全体会の様子



中山校長挨拶



研究説明

6 ALPS提案授業の様子とアンケートから

(1) 3年2組 算数「三角形」

円の半径や折り紙を使って作った三角形が二等辺三角形である理由を、2辺の長さが等しいことを使って説明することができる学習。



- 「何て言ったらいいんだろう」「もう少しでわかりそうだ」という声が聞こえてきて、主体的に学んでいることが伝わってきました。とてもいい授業を見せてありがとうございました。
- 子どもたちが学び合う場面で、先生が簡単にまとめずに子どもの考えをつないでいく場面では、「2つだ!」「あーっ。」と学びが広がり深まる場面を見せていただきました。

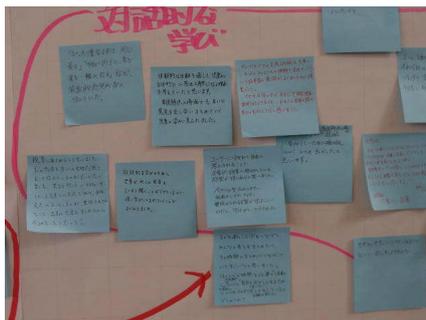
(2) 6年1組 特別の教科道徳「中学校へ羽ばたく自分を見つめよう」

自分の特徴を知り、長所を伸ばし、短所を改めて、自分自身をより良くしていこうとする心情を育てる学習。



- 個性伸長の授業では、この価値の特性から他者評価を通して自己を知ることが大切だと思うので、今日のような授業の流れが効果的だったのではないかと思います。
- 子どもがどんどん書き込んだり、交流したりする姿が見られました。終末の先輩が書いた卒業文集の内容も効果的だったように思います。
- 6年生の単元として道徳を扱うという構成、「ジョイントカリキュラム」の位置付けなど、たくさんの既成概念との戦いがあったと思います。道徳的価値の位置付けや価値の主体的自覚での対話などがポイントになると思いました。

7 研究協議の様子



<実践発表会アンケートから>

- 学級経営が素晴らしいです。
- 子どもたちの集中力と発言（内容）に感心しました。
- 「深い学び」には、教師の問いかけ（発問）の大切さが理解できました。
- 子どもと教師の日常の信頼関係が授業づくりで大切であると、関係の良さを感じることが出できました。
- アクティブラーニングの基礎（土台）学級づくりができており、今後は各学級ごとにより細かく6年間の段階（話合いの仕方→自ら発表し追究）にしていけばと思います。
- 校長を中心に「チーム」として取り組む研究・教育活動の素晴らしさを感じました。
- 研究内容を「学習過程の改善」にポイントを絞っているのがわかりやすく、職員の共通理解や目指す姿がはっきりしていて研究として取り組みやすいと思いました。
- *研究協議は、参観した「算数」と「道徳」に分かれて行った方がよいと思った。
- 研究協議も限られた時間の中で2本分の授業について学ぶことができ、よかったです。

☆関係機関ならびに、ご協力とご参会いただいた多くの皆様に感謝申し上げます。